

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭総合	2	3	必修	普通科	

## 1. 科目概要および目標

- ①家族や生活の営みを人の一生との関わりの中で総合的にとらえる。
- ②学習した知識や技術を実生活に生かして、各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力を定着させる。
- ③家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2. 成績評価

- ・定期テスト
  - 1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施する。
- ・提出物
 

ワークノート、ファイル（授業プリント）、作品提出、授業での課題等にて評価する。
- ・ホームプロジェクト（夏休みの課題）
- ・授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60	%	作品・提出物	30	%	出席・授業態度	10	%
-------	----	---	--------	----	---	---------	----	---

## 3. 使用教科書・教材

- ・教科書：新家庭総合 パートナシップでつくる未来(実教出版)
- ・副読本：ニューライブラリー家庭科 資料+成分表2017(実教出版)

## 4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業やロールプレイングなどを取り入れる。また、被服実習や調理実習では、すぐに取り組めるように予め準備を整える。

## 5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

- (1) 生活を見つめ直す。
- (2) 生活の課題を明らかにする。
- (3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。
- (4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

## 6. 履修上の留意点

## (1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目などで、作品や提出物などを重視して評価する。また、作品については、実習の態度や過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

## (2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関係で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。専攻する分野にもよりますが、食物系なら生物や化学、住居系なら物理や現代社会を学んでおこう。大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。

年間授業計画

那覇西高等学校

月	章	節	単元	配時	マーク
4			オリエンテーション	1	
5	2編 生活をつくる 1章 食生活をつくる	1. 人と食物とのかかわり 2. 私たちの食生活 3. 栄養と食品のかかわり	①人は何を食べてきたのか ②日本の食文化の形成 ①私の食生活 ②ライフステージと食事 ③今の食卓は？日本の食卓の課題 ④食を楽しむ ①食品の栄養素とからだの成分 ②炭水化物とその食品 ②脂質とその食品 ③たんぱく質とその食品 ④ミネラルとその食品 ⑤ビタミンとその食品	20	
6		4. 食品の選び方と安全	①食品の表示と保存 ②食品の衛生と安全		
7		5. 食事の計画と調理	①食事摂取基準と食品摂取量のめやす ②家族の食事計画 ③調理から片づけまで		
		6. これからの食生活を考える	①日本の食料はどこから ②食の安全と環境への配慮 第1回調理実習：親子丼・すまし汁・お浸し		
定期考査〔期末テスト〕					
		5. 食事の計画と調理	第2回調理実習：硬ジュース・アサ汁・もずく酢・ちんすこう お弁当献立づくり（夏休みの課題に向けて）	2 2	
9	1編 人とかかわって 生きる 3章 高齢者とかかわる	1. 高齢社会に生きる 私たちの暮らし 2. 高齢者を知る 3. 高齢者の自立のために 私たちができること 4. 豊かな高齢期を迎えるしくみ	①高齢者とかかわる ②高齢社会の状況 ①高齢者の心身の変化②高齢者の生活③高齢者の生活の課題 ①高齢者の生活を支える介護 ②介護の心と介護技術 ①大きな介護不安 ②介護サービスの利用	6	
10	4章 社会とかかわる	1. 支えあう暮らしとは 2. 私たちの社会福祉 3. 地域社会の一員と してのボランティア活動	①社会保障制度の仕組み ①共に生きるとは ②地域で支えあう暮らし ①ボランティア活動とは	4	
		5. 食事の計画と調理	第3回調理実習：麻婆豆腐・粟米湯・杏仁豆腐	2	
11	2編生活をつくる 3章 住生活をつくる	1. 人と住まいとのかかわり 2. 住まいと住まいの文化 3. 住まいを計画する 4. 健康的な住まい 5. 安全な住まい環境 6. これからの住まいを 考える	①人と住まいのかかわり ②ライフスタイルと住まい ①住まいの移り変わり ②生活様式と住まい ①住空間の成り立ちと平面計画 ②平面図を読み取る ①健康に配慮した快適な室内環境②住まいを管理する ①安全に配慮した住まい ②人にやさしい住まい ①住生活の現状 ②住環境と地域社会 ③快適な住まいを次の世代に	10	
12	3編消費者として 自立する 1章 消費行動 を考える	1. 消費行動と意思決定 2. 社会の変化と 消費行動	①主体的な消費行動 ②適切な選択をするために ①「買う」ことは「契約」 ②多様化する販売方法 ③適切な契約 ④支払方法の多様化と消費者信用 ⑤製品による事故と被害の救済	4	
定期考査〔期末テスト〕					
		3. 消費者の権利と責任	①消費者の権利を守るために ②これからの消費者	1	
		5. 食事の計画と調理	第4回調理実習：ミートソース・スタ・コンソメスープ・マトレーヌ	2	
1		4. 持続可能な社会環境	①私たちの生活と資源・環境 ②持続可能な社会をめざす ③これからのライフスタイル	2	
		5. 食事の計画と調理	第5回調理実習：お弁当（自由献立）	4	
定期考査〔期末テスト〕					
2	2章 経済的に 自立する	1. 経済の仕組みを知る	①経済の中の家計 ②家庭経済と家計管理 ③現代の家計	1	
		2. ライフステージと 経済計画	①独立して暮らす ②人生設計と経済設計	1	